

第4回 嘉麻市中小企業振興審議会 会議要録

審議会の名称：第4回嘉麻市中小企業振興審議会

開催日時：令和5年1月30日（月）10時00分～11時30分

開催場所：嘉麻市役所本庁舎 委員会室1

公開又は非公開の別：公開

出席者：（委員）

日高 健 委員	大里 信義 委員	北川 裕之 委員	中村 博美 委員
大田 岱次 委員	益田 政利 委員	中野 勝己 委員	吉安 勝行 委員
大野 繁治 委員	柳瀬 智幸 委員	中村 瑠梨 委員	

（事務局）

産業振興課 課長 篠崎慶太

課長補佐兼商工係長 田口美紀 商工係 白石莉菜

公益財団法人九州経済調査協会 藤井、平松、原島

（欠席者）

大里 岳 委員

議 事

1. 第2次嘉麻市中小企業振興基本計画について

(ア) 推進する施策と主な取り組みについて説明

【施策体系】

- (1) 中小企業の創業の促進を図る
- (2) 中小企業の経営基盤の安定強化を図る
- (3) 中小企業の活用による地域内の経済循環の創出を図る
- (4) 中小企業者の新たな事業展開の促進を図る
- (5) 中小企業の人材の確保及び育成並びに職場環境の整備の促進を図る
- (6) 小規模企業者の事業の持続的な発展を図る

【質疑など】

- (1) 中小企業の創業の促進を図るについて

→意見なし

- (2) 中小企業の経営基盤の安定強化を図るについて

① デジタル化促進に向けた支援

(委員長)

指標に、企業におけるデジタル化進捗割合(%)があるが、どうやって算出するのか？

(事務局)

今年度行ったアンケートの中で、デジタル化の取り組みについて聞いており、①デジタル化がある程度進んでいる、②進んでいる、③かなり進んでいると回答の合計を参考値として記載している。今後、毎年の指標を設定していく必要があるため、2023年度に改めて、質問項目を絞った上でアンケートを実施して、その回答からデジタル化の進捗状況の目標を設定する。そこから毎年、アンケートを実施して、進捗状況を把握する。

(委員長)

毎年、アンケートを実施するということで良いか。

(事務局)

今年度は、市内全域の企業にアンケートを送ったが、今後は対象を絞って、質問項目を絞って実施する予定である。今のところ、商工会、商工会議所、誘致企業振興会の会員企業を対象に、毎年同じような調査を実施して、デジタル化の進捗状況を把握していくつもりである。

(委員)

アンケート調査で今年は全域で行って、来年から対象を絞るということだが、大きな企業はデジタル化がどんどん進展して行っているが、個人企業などの規模の小さい企業はデジタル化が進んでいない。そのため、3年に一度ぐらいは小さい企業もフォローするようなアンケートを行うべきではないか？嘉麻市も100人規模の企業は少ないため、実態を把握するためにも、数年に一度は全数調査が必要ではないか？

(事務局)

説明不足かもしれないが、アンケートの調査対象になっているのは、商工会の会員事業者と商工会議所の会員事業者、誘致企業振興会の会員企業のみである。商工会の会員事業者は小規模な事業者が多いと考えている。そのため、アンケートに回答いただければ、デジタル化進捗状況の実態が把握できると考えている。

(委員長)

アンケートの内容が今回は幅広かったが、今後はデジタル化などジャンルを絞って、アンケートをかける予定である。デジタル化が今回の計画の柱になるが、遅れているのもデジタル化である。アンケートを定期的に行うことで意見を集約する機会にもなる。アンケートの設計に関して、しっかりと検討してほしい。

(3) 中小企業の活用による地域内の経済循環の創出を図るについて

(委員長)

公共事業についての、実施方針を市が定めることになっているが、今から新たに定めるということか？

(事務局)

そうなる。

(委員長)

市の実施方針を定める際には、本日来ている委員の意見を伺うことになるかもしれないが、その際はよろしくお願いします。

(4) 中小企業の新たな事業展開の促進を図るについて

(委員)

中小企業振興計画と少し離れるかもしれないが、農業を大規模化できるといいと思う。

(委員長)

行政は縦割りで所管がはっきり決まっているということもあるが、農業の振興について市が把握していることはあるか？

(事務局)

大規模化など農業については、基本的に農林振興課の所管になっているため、そちらの

方で計画を策定されることになると思う。

(委員長)

縦割りで農林振興課の所管の話だと思うが、知らない顔もできない。以前から、農商工連携という話があり、農業者自身が自分の生産物を加工品にすることもあるが、地域内の企業と連携して付加価値を高めるということもできる。地域内の企業と連携するという話になると、こちらの計画に関わってくることになるため、なんとかして連携を図りたいというところで、今回の計画（案）の記述にしたところである。

(委員)

現在、朝ドラで東大阪にネジを製造している所があり、今度は飛行機の部品を作りたいということで、自分たちのところだけでは作れないため、東大阪の零細企業が集まって知恵を寄せ合って、作ろうとしていた。縦割り行政ではなく、農業と商業の連携が図れるといい。一つのアイデアであるが、お茶やコーヒー殻は個人で使う分は少しかもしれないが、茶葉やコーヒー殻で堆肥を作ることできると思うので、嘉麻市の消費者に貯め置きをお願いしておけば、人口が3~4万人いるので、もしかしたら結構集まるかもしれない。カスを捨てるわけではなく、そのカスを再利用できるといいと思う。

(委員長)

農商工連携はなかなか進まない分野でもある。そこを促進する機関が必要になる。中間支援組織と言われるが、農商工連携を進める必要がある。今回の計画では、そこまで踏み込めなかったが、次の展開を考えてほしいという投げかけをしてもいいかもしれない。

(5) 中小企業の人材の確保及び育成並びに職場環境の整備の促進を図るについて

→意見なし

(6) 小規模企業者の事業の持続的な発展を図るにつちえ

→意見なし

(イ) 嘉麻市第2次中小企業振興基本計画（案）の全体説明について

【質疑など】

(委員長)

目標数値はどのように定めているのか？

(事務局)

前回の計画の目標数値については、到達しやすい数値であった割には、効果が見込めたのかという声があったため、チャレンジ度を上げた算出をしているところである。

(委員長)

P 33 に商工会・商工会議所の相談・指導件数（件）があるが、これは商工会・商工会議所に相談した上で記載しているのか？

(事務局)

委員ではないが、商工会・商工会議所の人には相談している。問題はないだろうと言われている。

(委員長)

企業マッチングの場の創出だが、2023 年で体制を整えて、2024 年から行うことになる。

(委員)

マルシェの開催だが、市が主催するものに限定しているのか？

(事務局)

市主催とは限ったものではない。

(委員)

市内企業のインスタグラムをフォローしているが、定期的にマルシェが開催されるようである。そのため、この企業だけで、目標回数はクリアしてしまうのではないだろうか？

(委員長)

これは、場所数か？それとも、開催回数か？

(事務局)

開催回数である。民間でやっているものの把握をどうするかという課題は残っている。様々な民間の方がマルシェをやる意向であることは耳に入ってくるのだが、その把握の方法は課題になる。

(委員長)

改めて、再検討した方が良い。

(委員長)

地域住民への地域企業への広報件数はどういった考えになるのか？

(事務局)

現在も行っているが、広報かまの方で、毎月 1 社紹介している。そこで、紹介数を増やす目標を掲げている。

(委員長)

もう少し増やしてもいいとは思いますが、この目標を達成したから後はしないという話もないので、この目標を設定しておいて、可能ならどんどん増やしていくことにしてほしい。

(ウ) 第2次中小企業振興基本計画策定今後のスケジュール

- ①第2次中小企業振興基本計画（案）の決定 → 第4回審議会（R5.1.30）
※審議会内で決定できなければ、正副会長への委任
- ②パブリックコメントの実施（30日間） → R5.2月中旬～R5.3月中旬
※審議会から市長へパブリックコメント実施依頼
- ③意見集約 → R5.3月中旬
- ③意見集約 → R5.3月中旬
- ④計画案についての必要な修正 → R5.3月中旬
- ⑤第2次中小企業振興基本計画（最終案）の決定 → 第5回審議会
- ⑥市町への答申 → R5.3月下旬
- ⑦計画の決定 → R5.3月下旬
- ⑧印刷製本 → R5.3月下旬

2. その他

次回開催：令和5年3月27日（月）10:00～